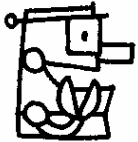


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /  
人と動物の体 / 理解シート

## かん臓ぞうのはたらきを、教えて



血液中の養分の量を調節したり、体内に入った毒物の毒性を消すなど、大切な役目をたくさんしているのさ。

かん臓は、大人なら1.2～1.4kgもあるほど大きい、内臓ないぞうです。

小腸で食物から吸収きゅうしゅうした養分は、かん臓にたくわえられています。はげしい運動などをして血液中の養分がたくさん使われてへると、かん臓から養分が送り出され、いつも一定の量になるよう調節されています。体内にとり入れた養分が多すぎたときは、かん臓でしぼうちよぞうに変えられ、体内に貯蔵ちよぞうされます。

薬や毒性のあるものを体内にとり入れたときは、かん臓で分解され、毒のないものに変えられます。あまり長い間、お酒を大量に飲む生活を続けると、かん臓が悪くなることが多いのは、かん臓が、お酒のアルコールの毒性に負けるためです。

### かん臓は、切られても、もとの大きさにもどれる

血液は骨ほねの中でつくられますが、一部はかん臓でもつくれ、古くなった血液をこわすのも、かん臓の役目です。しぼうの消化を助ける、消化液も出しています。

かん臓は、少しぐらい切り取られても、もともにもどる力が強いのが特長です。実験動物のラットなどでは、3分の2も切り取られたかん臓が、1週間後には、もとの大きさにもどるほどです。

